

令和4年度第2回狭山市立図書館協議会会議録

- 開催日時 令和5年3月15日（水）
午後2時～午後3時20分
- 開催場所 中央図書館 視聴覚室
- 出席者 横田保太郎会長
今福裕美子委員 齋藤裕美委員
指田 良恵委員 宮崎 望委員
佐伯 哲雄委員 河野郁夫委員
小浦 太郎委員
- 欠席者 伊藤真理子委員 阿久澤忠委員
- 事務局 内藤生涯学習部長
(中央図書館) 加藤館長 平沢副館長 山崎主事
(狭山台図書館) 吉田館長
(教育指導課) 笠原指導主事
- 傍聴者 なし
- 協議事項 (1) 令和4年度(4月から1月)の事業報告について
(2) 令和5年度事業計画について
(3) 第3次狭山市子ども読書活動推進計画について
(4) 図書館運営基本方針(案)について

会議の経過

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事

- (1) 令和4年度(4月から1月)の事業報告について
- 事務局 各館長から、令和4年4月から令和5年1月までに実施した事業について報告を行った。
- 中央図書館からは、「ミニ特集本コーナー」・「児童書展示(給食)」・「講演会『生まれ育った土地と小説』」・「すとうあさえ氏による講演

会」などについて説明した。

狭山台図書館からは、「ビブリオバトル」・「企業展示関連事業」などについて説明した。

質疑・意見等 特になし

(2) 令和5年度事業計画について

事務局 各館長から、主な事業について説明を行った。

(中央図書館)

市内イベントや市主催の事業、時事問題等に関連したミニ特集をより充実させる。また、定例の事業についても、議題(4)にて協議予定の「狭山市図書館運営基本方針」等を意識しながらより良い方法で行うよう努める。

(狭山台図書館)

令和4年度に引き続き、「ビブリオバトル」・「企業展示関連事業」により力を入れ、継続し実施する。なお、「子ども向けお仕事体験」を新規に実施予定。

質疑・意見等 特になし

(3) 第3次狭山市子ども読書活動推進計画について

事務局 令和5年度からの5か年計画となる、「第3次狭山市子ども読書活動推進計画」を策定したことについて、報告を行った。

質疑・意見等 特になし

(4) 図書館運営基本方針(案)について

事務局 「図書館運営基本方針(案)」のうち、前回協議会に提示した案に変更・追加とした第2、4、5章について説明を行った。

第2章の現状と課題については、前回提示した資料は令和2年度までのデータを使用していたが、令和3年度までのデータとした。

第4・5章は今回追加した内容であり、第4章は施策体系を整理し、具体的な取り組み内容や目標指標などをとりまとめた。第5章は計画の推進体制を示したものである。

【字句訂正】P77中「施策4-4」の「電子書籍導入の検討と導入」について、正しくは「電子書籍導入の検討」。同表中「目標」に記載の「導入」は「検討」が正しい表示。

質疑・意見等

委員 前回協議会の説明時に、狭山台図書館を廃止とすることが決定されたように受け取ったが、廃止が予定されている時期は。
また、廃止に伴う市民への説明及び対応は。

事務局 狭山市公共施設再編計画の中で、中央図書館は2028年度から2037年度の期間内に建て替え、狭山台図書館は、同期間内に機能を集約及び除去が位置づけられている。これは指針であるため、今後検討を行っていくものであり、狭山台図書館の廃止が決定されているものではない。

委員 (1) P44、郵送貸出について障害などの事情で来館が難しい利用者に対してのみ行うのか、学校などの団体貸出対象者への郵送サービスも検討しているのか。対象者の範囲は。

(2) P54、地域資料のデジタル化・アーカイブ化について、図書館独自で作成するものなのか。狭山ケーブルテレビでは、開局以来の放送を保存し、放送するチャンネルがある。映像として保存する方法があれば、地域の企業を活用し、保存していく方法もあるのではないか。

(3) 16ミリフィルムについて、新たに購入することを考えているのか。

(4) 施設の老朽化により、1階書庫の漏水があると聞いたが状況は。

事務局 (1) 図書館に来館することが困難な利用者への郵送貸出サービスは対象者の範囲も含めこれから検討していく段階である。

(2) 他市図書館等の様々な取り組みを参考にしながら、狭山市として、保存すべき資料の研究をしていく必要があると考えている。なお、現時点での取り組みとして、狭山市史全巻の目次をデータ化し狭山市立図書館のHPに掲載しており、閲覧希望項目の収録巻を検索できる。また、国立国会図書館のデジタル送信サービスにて利用登録を行うとインターネット上で狭山市史の閲覧が可能となっている。

(3) 16ミリフィルムについて、映写機は修繕等を実施しながら長く使用ができるよう管理を行っていく。映画会により、フィルムによる上映の鑑賞経験という効果も期待できる。

(4) 書庫の漏水箇所による資料の保管については、該当箇所付近

に資料は置かず、必要に応じ修繕等を行い資料に影響が出ないように努めている。また、令和3年度に屋上防水工事を実施した。

蔵書数の増加による保存場所の確保については、除籍等も検討しながら必要な資料の保存を行う。

委員 ボランティアやメンバーシップ等の団体に属さない層が手軽にアクセスできる施策、図書館を利用したことがない人のニーズを取り入れることの必要性を感じている。ICTやDXの観点から（AIの質問に答える形式で本の選択ができるような）AI技術を取り入れると話題性もあり面白い取り組みであると思う。

委員 事業について、効果的なPRができていないと感じる。狭山台図書館で開催されたビブリオバトルは、図書館員が学校へ出向き、学校との共催のイベントにできると面白くなるのではないか。また、高齢者が気軽に利用できるようなシステムの構築を期待する。例えば、さみどり号の停車場所である介護施設や病院での巡回回数を増加することや駅での停車等を検討いただきたい。子供向けのイベントで地域の高齢者が協働できるような仕組みがあると良いと思う。

委員 市内のイベントに図書館員が出張し、アピールをすることも効果的だと思う。図書館を利用したことがない市民のきっかけとなるようなPRが必要。

委員 運転免許の返納等により来館が難しい利用者に対し、移動図書館とは別に、茶の花号の停留所として市内図書館が入っていると良い。

委員 中央図書館の近隣である狭山市駅西口広場で開催されているイベント等での利用の呼び込みや、狭山台図書館で開催された「企業展示関連事業」は狭山市民交流センターで随時開催されている「企業説明会」と連携できれば良いPRの場となるのではないか。

文字を見ただけで楽しくなるような企画を期待している。

また、図書館利用券をアプリケーション化して、スマートフォンでの貸し出し処理が可能になると、より利用しやすくなると思う。

委員 図書館利用率の上昇により、本計画もより推進されると思う。

利用率上昇に繋がる取り組みを期待する。

委員 利用者の小さなアイデアや要望を拾い上げ、すぐに実現することができると思う。

6 閉会